

事業所運営に関する自己評価表

事業所名：PONO KIDS鎌倉
 サービス：児童発達支援評価
 実施日：2025年1月

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	取り組み状況
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			法令を遵守したスペースを確保しています。
	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）。さらに心理指導担当職員を1名配置しています。
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	2Fのため、手すりが設置されている。エレベーター等の昇降設備はない。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			はい。週に1度スタッフ全員で振り返りを実施する時間を設けています。
	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			はい。令和4年度より実施しています。
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			いいえ。開設1年目のため今回が初めての実施となる。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	いいえ。今後第三者評価を実施し、業務改善につなげる予定である
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			はい。
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			はい。フォーマルアセスメントは、Vineland-II、SP感覚プロファイルを導入。本人、ご家族のニーズを一番に考慮。長期目標を踏まえた支援計画（原案）を作成している。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			はい。Vineland-II（適応行動尺度）を使用しています。
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			はい。
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			はい。週1回の振り返りにより、プランの見直しや、支援の中身を話し合う機会を設けています。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			はい。スタッフ間で分担しながら、チームで行っています。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			心がけてはいるが、児童の「楽しい・やってみたい」気持ちを引き出す為に、支援計画には入っていないプログラムを組むこともある。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			はい。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			<input type="radio"/>	打ち合わせをする時間がない時は、メモに書き内容を伝えるようにしている。プログラムは、プログラム決めの時に大まかな事を決めている。

	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		チャットツールを活用し、情報共有の質向上をしています。	
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			はい。	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			はい。月毎にモニタリングを実施。半年に1度支援計画を見直しを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			はい。管理者および児発管が参加しています。	
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			はい。発達支援室との連携やご家族との情報共有。定期的な親子参加型イベントなど積極的な連携を図っています。	
	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			どちらでもない。該当者がいません。
	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			どちらでもない。該当者がいません。
	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				はい。必要に応じて訪問による情報共有等を実施しています。
	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				はい。必要に応じて訪問による情報共有等を実施しています。
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			助言や研修の機会がありません。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			実例がないため、どちらともいえませんが、機会があれば積極的に交流を図っていきたくと考えています。
	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		実例がないため、どちらともいえませんが、機会があれば積極的に参加したいと考えています。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				地域向けのイベントを企画している	
保護者への説明責任等	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			はい。日々の連絡ノート・LINE・家庭連携などを活用して情報共有・共通理解に努めています。	
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○			標準化されたペアレント・トレーニングは実施していないが、情報共有の機会を頻繁に設けている。
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				はい。契約時に丁寧な説明に努めています。またご不明点があればLINE等で簡単に問い合わせることができる環境を準備しています。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				はい。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				はい。日々の連絡ノート・LINE・家庭連携などを活用して情報共有・共通理解に努めています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				はい。年4回の親子参加型家族イベントを開催し、保護者会の開催に繋げています。	

	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		はい。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		事業所外への会報等は発行していないが、保護者には、情報発信している。
	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		はい。個人情報の使用に当たり、段階的な確認を実施しています。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		はい。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		H Pに掲載。 訓練等の実施時も報告している
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		はい。年2回以上の訓練を実施し、管轄消防署に届出している。
	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		はい。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		はい。毎年研修を実施しています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束が必要となる可能性のある児童については、ご家族や市役所等に確認している。